

機能別項目	判定名称	問題ないレベル	要生活習慣改善レベル	要医療レベル
	健診細目	A	B	C
身体計測	BMI(体格指数)	18.5 ≤ 値 < 25	25 ≤ 値 < 30 16 ≤ 値 < 18.5	30 ≤ 値 値 < 16
	腹囲(cm)(男)	値 < 85	85 ≤ 値	
	腹囲(cm)(女)	値 < 90	90 ≤ 値	
	コメント(やせ) コメント(肥満)	問題ありません 問題ありません	やせ傾向です 肥満傾向です	高度のやせです 高度の肥満です
視機能	視力	両眼0.7以上	一方でも0.6以下	一方でも0.3以下
	コメント	問題ありません	視力の低下を認めます	視力に関して受診をお勧めします
VDT健診		視力がAorBorC かつ、関連問診チェック 1個以下	視力がAorB かつ、関連問診チェック2 個以上	視力がC かつ、関連問診チェック2個以上
	コメント	問題ありません	VDT作業関連の自覚症状 を認めます	視力に関して受診をお勧めします
聴力	聴力判定	所見なし		正常範囲外
	コメント	問題ありません		聴力に関して受診をお勧めします
血圧	最高 最低	値 < 130 値 < 85	130 ≤ 値 < 140 85 ≤ 値 < 90	140 ≤ 値 90 ≤ 値
	コメント	問題ありません	血圧がやや高めです 生活習慣改善に努めてく ださい	高血圧に関して受診をお勧めします
尿蛋白	尿蛋白	(-)	(±)、(+)	(2+)
	コメント	問題ありません	わずかに尿蛋白が出てい る可能性があります	尿蛋白陽性に関して受診をお勧めします
赤血球	赤血球数(RBC)(男)	427 ≤ 値 ≤ 570	570 < 値 ≤ 600 400 ≤ 値 < 427	600 < 値 値 < 400
	赤血球数(RBC)(女)	376 ≤ 値 ≤ 500	500 < 値 ≤ 550 350 ≤ 値 < 376	550 < 値 値 < 350
	血色素量(Hb)(男)	13.0 < 値 ≤ 17.6	17.6 < 値 < 19.0 12.0 < 値 ≤ 13.0	19.0 ≤ 値 値 ≤ 12.0
	血色素量(Hb)(女)	12.0 < 値 ≤ 15.2	15.2 < 値 < 16.0 11.0 < 値 ≤ 12.0	16.0 ≤ 値 値 ≤ 11.0
	コメント(貧血)	問題ありません	軽度の貧血を認めます 生活習慣改善に努めてく ださい	貧血に関して受診をお勧めします
	コメント(多血)	問題ありません	軽度の赤血球増多を認め ます	多血症に関して受診をお勧めします
血中脂質	HDLコレステロール	40 ≤ 値	35 ≤ 値 ≤ 39	値 ≤ 34
	LDLコレステロール	0 ≤ 値 < 120	120 ≤ 値 < 140	140 ≤ 値
	中性脂肪(TG)	0 ≤ 値 < 150	150 ≤ 値 < 300	300 ≤ 値
	コメント	問題ありません	軽度の脂質異常症、また はその前段階レベルの値 を認めます 生活習慣改善に努めてく ださい	脂質異常に関して受診をお勧めします。

健康診断判定基準値

機能別項目	判定名称	問題ないレベル	要生活習慣改善レベル	要医療レベル	
	健診細目	A	B	C	
肝機能	AST(GOT) ALT(GPT) γ-GT(γ-GTP)	10 ≤ 値 ≤ 30 5 ≤ 値 ≤ 30 0 ≤ 値 ≤ 50	31 ≤ 値 ≤ 50 31 ≤ 値 ≤ 50 51 ≤ 値 ≤ 100	51 ≤ 値、値 ≤ 9 51 ≤ 値、値 ≤ 4 101 ≤ 値	
	コメント	問題ありません	軽度の肝機能障害、またはその前段階レベルの値を認めます 生活習慣改善に努めてください	肝機能障害に関して受診をお勧めします	
尿酸	尿酸(UA)	値 ≤ 7.0	7.1 ≤ 値 ≤ 7.9	8.0 ≤ 値	
	コメント	問題ありません	尿酸値がやや高めです 生活習慣改善に努めてください	高尿酸血症に関して受診をお勧めします	
糖代謝	血糖値 HbA1c(NGSP) (グリコヘモグロビン) 尿糖	60 ≤ 値 < 100 4.6 ≤ 値 < 5.6 (-)	100 ≤ 値 ≤ 125 5.6 ≤ 値 ≤ 6.4 (±)	126 ≤ 値、値 ≤ 59 6.5 ≤ 値、値 ≤ 4.5 (+)以上	
	コメント	問題ありません	軽度の糖代謝異常、またはその前段階レベルの値を認めます 生活習慣改善に努めてください	糖代謝異常に関して受診をお勧めします	
前立腺検査	PSA検査(腫瘍マーカー)	0.0 ≤ 値 ≤ 4.0	4.1 ≤ 値 ≤ 5.3 (前年の値 4.1 ≤ 値 ≤ 5.3の時)	5.4 ≤ 値 or 前年値が無く4.1 ≤ 値 ≤ 5.3の時	
	コメント	問題ありません	1年に1回程度の経過観察が必要です	前立腺検査(PSA検査)に関して受診をお勧めしません	
ABC検診	ABC分類 H.ピロリ菌 ペプシノゲン	A群 (-) (-)	B群 (+) (-)	C群 (+) (+)~(3+)	D群 (-) (+)~(3+)
	コメント	ピロリ菌の感染はなく 胃粘膜の萎縮もありません	ピロリ菌に感染しています 胃粘膜の萎縮が進む前に 胃内視鏡検査やピロリ菌 の除菌をお勧めします	ピロリ菌の感染により胃 粘膜の萎縮が進んでい ます 胃内視鏡検査やピロリ 菌の除菌をお勧めしま す	胃粘膜の萎縮が進んで ピロリ菌が棲めない状態 です 消化器専門医の受診を お勧めします

H: 要治療継続(コントロール良好)、H1: 要治療継続(コントロール不良)、H2: 要治療継続